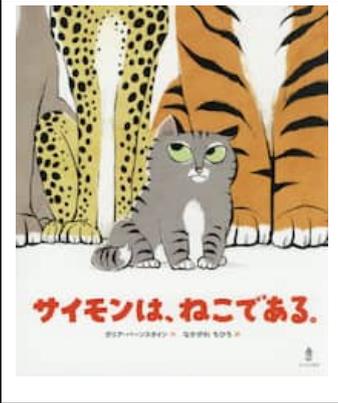




▽ 幼稚園・保育園以上

	<p>おにたのぼうし 文 あまんきみこ 絵 いわさきちひろ ￥1,925</p> <p>節分の日、鬼の子おにたは、豆まきされて今までの家を出ていきます。そして、女の子と病気で寝ているお母さんがいる家にそっと入ります。お腹が空いている女の子にご飯を届け、お母さんの病気を治すために豆まきをしたいという願いをかなえます。心やさしい鬼のおにたが、いわさきちひろさんのやさしい絵で描かれています。</p> <p>ISBN 978-4-591-00529-3 ポプラ社 : 1969年 発売</p>
	<p>わんぱくだんのおおかみもり 作 ゆきのゆみこ 作 上野与志 絵 末崎茂樹 ￥1,320</p> <p>寒い冬の日。わんぱくだんの三人は公園を歩いていると、「こちらおおかみもり」という看板を見つけます。面白そう、行ってみよう！するとあっという間に、雪の降る深い森の中へ。そして、おおかみに出会います。三人はおおかみもりで春がくるように「ハルヨビヒメ」という花を探しに行くことに。不思議な体験をする三人と一緒に春を見つけに行こう！</p> <p>ISBN 978-4-86549-339-9 ひさかたチャイルド : 2024年 発売</p>

▽ 小学生以上

	<p>サイモンは、ねこである。 作 ガリア・バーンスタイン 訳 なかがわちひろ ￥1,540</p> <p>猫のサイモンは「僕たち似てますね」と声をかけます。僕たちとはライオン、チーターなど大きく強そうな動物たちのこと。もちろん、みんな似てるなんて認めません。でもサイモンは似てるをどんどん上げます。立派なひげ、鋭い爪、真っ暗闇でもよく見える大きな目。本当だ！みんな似ていることを認め合って楽しく幸せな時間を過ごします。</p> <p>ISBN 978-4-7515-2834-1 あすなろ書房 : 2017年 発売</p>
	<p>ふしぎな魔法パズル ルービクの発明物語 文 ケリー・アラディア 絵 カラ・クレイマー 訳 竹内薫 ￥1,980</p> <p>ルービクキューブを知っていますか？6面の色をそろえるパズルで、一度は手にしたことがあるのではないのでしょうか。そのルービクキューブを発明した、エルノー・ルービクの伝記絵本です。エルノー少年は身の回りの物に興味津々で、特にキューブ(立方体)を美しいと感じます。大人になり、キューブのパズルを作りたいと考え、試行錯誤を重ねます。探求心や想像力、そして諦めない強い心でルービクキューブを完成させた様子が描かれています。</p> <p>ISBN 978-4-86706-053-7 西村書店 : 2024年 発売</p>